

令和6年12月 議会運営のデジタル化特別委員会

会議録

年 月 日	令和6年12月2日(月)			
場 所	下田市役所河内庁舎4階第1委員会室			
開閉会議時及び宣告	開 会	午前10時44分	委員長	浜 岡 孝
	閉 会	午前11時10分	委員長	浜 岡 孝
出席及び欠席委員 出席5名 オブザーバー出席1名 欠席0名  凡例 出席 ○ 欠席 ×	柏 谷 祐 也	○	大 西 將 由	○
	浜 岡 孝	○	天 野 美 香	○
	岡 崎 大 五	○	江 田 邦 明	○
	中 村 敦 (オブザーバー)	○		
職務のため出席した 事務局職員	局長補佐 佐々木雅昭			
その他出席者職氏名				
会 議 の 経 過	別紙のとおり			

(開会 10:44)

**委員長** 議会運営のデジタル化特別委員会を開催します。

本日は、現状についての情報の認識レベルを合わせるということで、今現在どう動いているかについて御説明させていただきたいと思っています。

先だっては、当局の動きをヒアリングして、それに対して当方からは予算の要求だけを出しているというところまでお伝えしていたところですが、それが本日どのような形で動いていて、今後どのように想定しているのか。それと、もう一枚の資料は、静岡県内における、デジタル化と言いますか、ICT活用状況について情報をまとめてもらっていますので、そのあたりについて事務局から説明いただいた後、改めて討議したいと思います。それでは、事務局、よろしくお願いします。

**事務局** 本日お配りした資料についてですが、まず一枚目、A4横長の資料ですが、先ほど委員長からもあったとおり、令和7年度の当初予算にペーパーレス会議システム導入に向けた予算を要求しているところですが、この予算要求にあたり作成したペーパーレス会議システム導入に向けた現時点での想定ロードマップとしています。

次に、A3横長の資料が2枚ありますが、こちらは、10月頃だったと思いますが、熱海市議会が県内の各市に向けて行った議会のICT化に関する調査の調査結果の一覧となっています。

これに関しては、熱海市議会にも断りを入れ、本特別委員会の資料とすることを許可していただいています。

この資料をご覧いただいてもおわかりのとおり、県内の市でシステムが未導入になっているのは、熱海市、伊東市、焼津市、下田市の4市のみと見て取れるかと思います。

それでは、A4横長の資料に戻っていただき、来年度の予算要求に当たり、ひとまず導入に向けてどういうスケジュール感でいるのかというようなことを財政当局の方にも示す必要があるものと考え、ひとまずロードマップを作成しています。

こちらのロードマップにおいては、いきなり4月導入ということは当然無理だと思っていますので、簡単に申しますと、令和7年9月定例会で試験運用をしたい、そして12月定例会から本格運用を目指すというような内容としています。

そして、令和7年度の当初予算要求、現段階で財政当局の方に要求していますのは、令和7年9月からの稼働、試験運用も見込み、リース料60カ月分を、令和7年度から令和12年度までの債務負担行為として、令和7年度当初予算においては、9月からの半年分のリース料128万円と、議場周辺のWiFi環境整備業務の委託料88万円を要求したところです。

ロードマップの具体的な内容としては、デジタル化特別委員会の動きとしては、来年の3月定例会において特別委員会の報告を行い、その後の方向性を報告するとともに、議会

としての意思統一を図りたいと。

そして、その委員会報告を受けて、新年度に入りまして、5月中には、議会運営委員会なのか各派代表者会議なのか、或いは任意の協議団体を設置するののかもよりますが、検討委員会を立ち上げて、導入するペーパーレス会議システムを選定。

6月頃にはリース契約を行うための作業を実施しまして、8月頃から導入準備を進め、9月定例会にて試験的に運用。

9月定例会後に試験運用の結果を検証するとともに、議員がシステムに慣れるための研修を更に行い、12月定例会からの本格運用を目指すという、本当に大雑把なものですけれども、システムの導入準備と試験運用に合わせまして、本格運用に向けての端末機器の運用方法についての検討、要綱になるのか規程になるのかというようなことにもなりますけれども、本格稼働前には下田ルールを策定したいというような方向で検討したものです。

環境構築に関してですが、これに関しては、導入システムの選定期間とあわせて、議場周辺のWiFi環境の構築についても検討を行い、9月定例会での試験運用までには環境を整える作業を実施し、試験運用、本格稼働等を進めていくわけですが、現在、総務課情報推進係といろいろやり取りをしている中では、一般的なフレッツ光回線で十分対応できるのではないかとと言われていまして、そうしますと、一本新たな回線をつなげば、ひとまずあとは議場周辺のルーターとかそういったものの整備で済んでしまうのではないかとというようなことも言われていますので、今とりあえず88万円、WiFi環境整備業務の委託料88万円要求していますが、こちらの方が少し絞れてくるのではないかとということで今考えてはいますが、その辺の環境整備に関しましては、今後も総務課との協議が必要と考えています。

先日も総務課の情報推進係長をお迎えして協議会を開催しましたが、ペーパーレス化に向けた当局側の動きというのがまだまだちょっと不透明なところが多いところで、当局との歩調をどうするんだというようなことがこの委員会でも協議されてまいりましたが、当局と完全に歩調を合わせていくということになると、さらに時間を要するというふうに想定されますので、議会側としましては、この特別委員会ですとか下田市議会としての意思を明確にするというようなことで、今後の予算措置の円滑化ですとか当局側の動きも活発になるのではないかとというようなことを期待して、令和7年度の当初予算に計上をさせていただいたものであり、今後の予算折衝にもよりまして、まずは議会側の姿勢として、令和7年度の途中にはなりますけれども、導入したいという意思表示を示すためにも、このロードマップを作成させていただいたということです。大雑把な説明としてはこの程度となります。

**委員長** ありがとうございました。動かないと何も動かないということですから、こちらで

動けるところは動いていきたいと思いますという基本姿勢にのっとりたものです。

先だって、総務課の係長に来ていただいたときに、やはり最低限のことについての合意ができたのではないかと考えています。

といいますのも、通常のインターネットを用いてアクセスしようという状況であるということを確認できたことと、アプリケーションについては我々が考えているものと同じものを想定しているということでしたので、この二つを最低限守っていれば、仮にこちらが先行して動いても最終的に着地点が異なるようなことはないだろうというところも想定しているところです。

財務課の反応についてはいかがでしょうか。事務局。

**事務局** 不透明です。

**委員長** 特に何の反応もないということでしょうか。

**事務局** 反応がないということではなくて、やはり来年度予算に向けて、当初要求の締めが11月13日頃だったのですが、その時点で一般財源が9億円程度不足しているという中で、議会事務局自体は、前年度対比で、今年度要求ベースでは前年度の87%ぐらいの、システム導入を含めても87%程度に抑えて要求はしてあるんですけれども。

ただ、全体としては9億円程度、一般財源ベースで足りないという中で、やはり今はまだ何とも、反応も本当に見通せないような状況です。

**委員長** ありがとうございます。進めるという前提で準備を進めていきたいと思いますが、内容について御質問、御意見ありましたらどうぞ。

**委員** 議会の予算を決めていく側の立場としてですが、今この特別委員会で協議していますが、何も決定していない中で、当初予算要求が議会事務局から出されていると。

議長はオブザーバーで参加していますけれども、他の議員さんはどのように何が進んでいるのかわからない状況で、この予算要求がされているというところ、まずしっかり議会側にこの委員会として報告を上げる必要があると思います。

今、事務局から説明がありましたが、本来そこをこの委員会の中で提示していただき、それでいいかどうかというのを決定して、中間報告ということで議員全員に示す必要があるのではないかとということで、このスケジュールのイメージには、3月の報告というのは、最終報告ということで、まず中間報告をこの12月、年内には示す必要があるかと思うのですが、その辺は委員会としてと言いますか、委員長としてどう進めていくか、教えていた

だきたいと思います。

**委員長** 細かい数字についてはかなり流動的であるということと、この件を進めるということについての合意と言いますか、基本的な同一意見を既に有していると考えていますので、大きな問題はないと考えていましたが、必要であるという意見があれば少し検討はしてみたいと思いますが、通常のプロセスとしては、基本合意ができていれば、基本的なことについての動向を報告する程度でいいのかなと思っておりますけれども。

**委員** 特別委員会後の会議概要で、会議録をまとめるとか、その辺の報告というのは、前回の10月16日のものはできていないのではないかと思うのですが、事務局ではそこはどのような流れになっていますか。

**事務局** 10月16日は協議会だったものですから、会議録としてホームページには掲載していないのですが、記録としては作成してあるという状況です。

**委員** あとは議長として、どういうお金の流れと言いますか、決裁していくのかということも、議長がよろしければどんどん進めてもいいのかなと思うのですが、議長の方で、例えば多分ノートパソコンを先行して入れる考えでこれが進んでいると思うのですが、当初予算も、その辺を明確にこの委員会の中で決定として決をとった記憶がないので、別に反対するつもりではありませんが、そういうプロセスをしっかりと示していかないと、今後市民に流れを説明していく上でも、このままの流れがどうかという部分に疑問を感じましたので発言しました。

**委員長** はい、ありがとうございます。そういった意見があるということは了解しました。

ただ、私の認識としては、もともと特別委員会を設置すること自体が、タブレットを導入をするという合意のもとで進んでいる、それをどのように進めるかについての議論をする場であると考えていますし、この委員会の途中でも、どのような機器をどういう感じに入れていくかということについては、既に何度も議題になっているところですので、合意を得て、特に反対意見もないということで認識していますので、私はあえて大きな動きをする必要はないと今現在は考えています。

**事務局** 補足ですが、今回予算要求はしていますけれども、あくまでもマックスの状況と考えていただきたいと思います。

この委員会で決めるのか、さらに先に進んだ検討委員会なりで決めるのかはともかく、

これからとは思いますが、どういうシステムを入れるのか、それとどういう機器を入れるのかというのは、結局、多分今要求している予算以上のものにはならないだろうと踏んでいますので、そういったことで、今要求しているものはあくまでもマックスだということでお考えいただければとは思っています。

また、自分の中でも少し微妙なところではありますが、指摘の部分について、例えば中間報告なり最終報告で報告するのかなど。

それを報告して新年度の当初予算で計上するというのは厳しい話ですから、その前段階で事務局としては順序がおかしくなったかもしれませんが、ひとまずは予算要求しておかないとどうにも動きが取れなくなるという話になりますので、その辺は、今までの議論を踏まえた中でのマックスと考えた予算を要求しているという形で理解していただきたいと思います。

**委員** 結局、機種等々の話というのは予算によるので、幾らぐらいの予算だとかこういう機種になってどうこうという話にもなると思うのです。

ですから、こういう機種でこういうふうに進めましよう決めたから、その予算がとれるかどうかはわかりませんから、ですから、どちらが先かという話になると思いますので、それは、何と言うんですか、歩調を合わせて、事務局が進めているのは、歩調を合わせてその辺は進めればよいのではないかと。

元来、江田委員が言うように、明確に決めて、それで予算が決まってくるんだけど、予算要求する段階では、明確に決めたものに対して確実に措置されるかわかりませんから、その辺の微妙な塩梅が今状況としてあるのではないかと。

ですから、報告と結局予算が決まったということが同じタイミングになるのではないかとすることを想定するのですが、江田委員の言われることはもっともですが、要するに決まらないわけですね。お金が決まらないと機種も決まらない、機種が決まらないと明確なことも報告できないというようなこともありますので、その辺のことも踏まえて考えると、どちらがどちらというよりも、同時ぐらいに出せばそれで市民理解は得られるのではなかろうかと考えます。

**委員長** はい、ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

これまで実物を見て勉強したことが2回ですか。実際に伊勢原市まで行って、実物を、動きを見てきたことが1回。それを踏まえて、どういう機種、どういう金額帯、どういうアプリケーションがよいのかということの研究してきて、その視察研修の後の取りまとめのところには、どういう機種がよろしかろうということを書かせていただいたところです。

本来ならば、本日もう一枚紙があつて、スペックも含めて、あつてもよかったのかもしれ

れません。ただ、先ほど岡崎委員からもありましたように、今現在は最大規模の予算を要求しているところであって、その中でどうなるかはまだ不透明であると。こちらの希望は大体決まっているけれども、どれにするかということを経済最終確定しているものではないということはそのとおりだと思います。

いかがでしょう。私は、合意はある程度とれているという前提で進めて考えていましたけれども、この合意は多分取れていると思うのですが、議長であったり他の議員がそうだねという、それをまとめて出すのが報告書だと思っているんですが。

**委員** では、一応お願いとして、全議員に対して、来年度以降、予算が厳しいというような財務課の説明もあった中で、ただ、これは必要なことですので、議会としてこういう予算を要望していくのだということを経済、このデジタル委員会の方から説明、中間報告と説明を5分か10分、行っていただきたいと思いますが、委員長、お願いできますか。

**委員長** 私は、中間報告として形づくったものを行う必要はないと思いますが、ただ、状況について情報を共有することについてはやぶさかではないと思いますので、そういう観点において、状況についての報告をするということについては納得できるものではないです。

**委員** はい。では、予算要求に当たっての、それまでの経過や、まだ予算は通っていないわけですから何とも言えないわけですがけれども、ただ、現状、こういう方針に基づいてこういう要求をすることになったというところの合意形成をお願いしたいと思います。

**委員長** 状況の説明だけをしたいと思います。12月定例会中に行うということで。

**委員** 別の議員も他の議員に向けて説明したいという事項がありますので、それを初日の散会後に予定しているかと思いますが。

**委員長** それではそのように進めたいと思います。

本日用意していただいた資料を、各市の状況を見ましても、当市が相当遅れているということは間違いなく感じました。デジタル化を進めるという前提で間違いなくという理解が進んだと思います。

本日はこの段取りと状況の確認だけのつもりでいしましたが、いかがでしょう。他に何か、今日の内容について、確認等があればと思いますが。

委員 賀茂郡内の状況はどうなっているか承知していますか。

事務局 町村の方は確認していませんけれども、恐らく、賀茂地域ではどの町も未導入と  
います。

委員 わかりました。

事務局 正直なところ、県内ではここまで進んでいたのかと驚きました。

委員長 他にはよろしいでしょうか。

それでは本日の特別委員会をこれにて閉会とします。

(閉会 11:10)